

平成23年3月17日



各JA

米穀・営農・経済担当部署 御中

新潟県種子協会

東北電力の計画停電の実施に伴う水稻育苗作業に係る指導について

このことについて、県農林水産部より関係先に対し、指導を徹底するよう通知されています。

つきましては、JAにおかれましても、以下の内容をご確認のうえ、営農指導をお願いいたします。

【通知内容（水稻部分のみ抜粋）】

東北電力の計画停電の実施に伴う農畜産物等の管理対策

平成23年3月16日

新潟県農林水産部

東北電力では、東北地方太平洋沖地震等の対応として、新潟県を含む東北各県において、計画停電を実施します。詳細なスケジュールについては、報道発表等を適切に把握し、農畜産物の生産への影響を最小限に止めるようお願いいたします。

記

1 水稻

(1) 育苗計画

平成22年産種子は高温登熟により例年に比べ休眠が深いと推定され、コシヒカリ等発芽しにくい品種では、催芽・出芽の遅延や不揃いが懸念されるので、余裕を持った育苗計画を作成し、作業に当たる。

(2) 浸種

ア 育苗は4月20日以降の播種に合わせて浸種を開始し、気温の低い3月中の浸種開始は行わない。

イ 浸種水温は、開始時から10～15℃を確保する。浸種中は水温をこまめに確認し、停電時には必要に応じて断熱材やお湯を活用して水温の低下を防ぐ。

(3) 催芽・加温出芽

ア 催芽及び出芽中は、温度が30℃を下回らないよう、断熱材や保温性のある被覆資材を活用し、停電の直前は出芽器の扉や被覆資材をむやみに開放しない。

イ 停電により催芽・出芽時の温度が低下した場合は、催芽・出芽の期間が更長くなる可能性があるため、芽の伸び具合を確認しながら作業を行う。

以上